

「祇園辻利のサードブランド」がお届けする、猛暑を吹き飛ばす“爽快ドリンク”
暑さを乗り越えるすっきり爽やかな「煎茶レモンミルクシェイク」
祇園祭の熱気に包まれる京都にて、2024年7月21日より夏季限定で販売開始！



2024年7月21日(日)、1860年創業、京都・祇園から宇治茶の豊かな味わいと楽しみをお届けする株式会社祇園辻利(本社:京都府京都市、代表取締役:三好 正晃)が展開する新ブランド「ぶぶる」より、今年も一層暑さが猛威を振るうこの季節に、ここでしか購入できない新メニュー「煎茶レモンミルクシェイク」を7月21日より夏季限定で販売開始いたします。また、祇園祭で賑わう京都の街を歩きながら水分補給するための「ボトル入り冷茶」の提供を特別価格でスタートいたしました。

**お茶の老舗による新ブランドだからこそ味わいを追求した、
カテキン豊富な煎茶×レモンの、“カラダよろこぶ”夏メニューが登場。**

「ぶぶる」では、猛暑の続く今年の夏限定メニューとして「煎茶レモンミルクシェイク」を期間限定で販売。煎茶のほどよい苦みと、やさしいミルクの味わいに、レモンの香りが後味さっぱりとさせてくれる極上の爽快ドリンクです。誰もその甘酸っぱさに胸躍るレモネード風味とティーテイストのシェイクは、酸味だけでなくミルクのまろやかな優しい味わいに、心地よい苦みを感じさせる煎茶パウダーをミックス。健康をサポートしてくれる茶カテキンが豊富な煎茶をベースにしたドリンクで、美味しく夏を乗り切りませんか。また、祇園祭で賑わう京都の街歩きにぴったりの、「ボトル入り冷茶」を特別価格でご提供。冷たいストレートティーはもちろん、ハーブティーやノンカフェインなど、選べるドリンクは15種類。お好みのドリンクを片手に、水分補給をしっかりとしながら祇園祭をご堪能ください。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

商品詳細

煎茶のほどよい苦みと、やさしいミルクの味わいに、レモンの香りが後味さっぱりとさせてくれる極上の爽快ドリンク。甘酸っぱさに胸躍るレモネード風味とティーテイストのシェイクは、酸味だけでなくミルクのまろやかな優しい味わいに、心地よい苦みを感じさせる煎茶パウダーをミックス。健康をサポートしてくれる茶カテキンが豊富な煎茶をベースにしたドリンクに柚子ピールをトッピングした爽快ドリンクをお楽しみください。

商品名：「煎茶レモンミルクシェイク」

価格：750円(税込)

販売期間：7月21日（日）～9月中旬頃



選べるメニューはなんと15種類！
あなたはどのドリンクを持ち歩く？！
ポップなぶぶるデザインのオリジナルボトルに、
冷たいドリンクを入れたメニューを
期間限定・特別価格でご提供！

商品名：「ボトル入り冷茶」

価格：800円(税込)

販売期間：7月15日（月）～

選べるメニュー

- ・ストレートティー10種
- ・ハーブティー4種
- ・ノンカフェイン1種



※全商品、なくなり次第終了となります。

ぶぶるについて

あえて「抹茶(碾茶)」ではなく、「揉み茶」の新しいカタチに挑戦

世界でも類をみない、お茶の多様な味わいと香りの最前線を提供するため、2023年10月京都駅に誕生した「祇園辻利」3つ目の新ブランド「ぶぶる」。

京言葉でお茶を意味する「ぶぶ」を採用し、体験、すなわち「ぶぶる」(動詞)とすることで、飲む・食べるに加え、“自分らしい暮らしに合った、お茶の楽しみ方”というスタイルを切り拓き、いつもそばにある「お茶」から人々の心と体を整えることを目指しています。



ぶぶるの商品カテゴリー



テイクアウト「ドリンク」は、スカッシュ、ティーシェイク、ティーラテ、オーガニック、ノンカフェイン等、全8種類。カモミール、レモンマートルといった癒しの効果をもたらす「ハーブ」、そして「揉み茶」の濃度やカフェインレスまで。さらに、マンゴーやバナナ、ストロベリーなどのフルーツと組み合わせた「ティーラテ〈フルーツ〉」が新たに登場。暮らしにおける身近な趣向から「お茶」を選ぶよう、100通り以上(*1)の「お茶」の味わいをお愉しみいただけます。
*1:お茶の濃さやトッピングなどのカスタマイズを含む合計100通り以上



茶葉を練り込んだ特製のパンに、すっきりとした後味をもつ植物性のソイバターを挟んだ「ぶぶるさんど」。定番のあんバター(玉露、ほうじ茶)や、新幹線の“ちょっとした、贅沢おつまみ”としても嬉しい「お漬物」を組み合わせた「玉露ガーリックしば漬け」や「ほうじ茶ガーリックすぐき」の味わいが楽しめます。また持ち帰りやすさも配慮されたヌードルには玉露つゆが使用され、ここでしか味わえないテイクアウト「フード」をご提供しています。



お土産は、定番の“甘〜い”和スイーツだけでなく、前代未聞のお茶のスナック菓子「ぽてと」や、茶葉がまるごと入った健康にも嬉しいお茶の「ふりかけ」など、食欲そそるアイテムが店内にずらりと並びます。貰ったひとのこころもまるくなる、愛らしい京土産を取り揃えています。

祇園辻利について

京都・祇園の地から、最高の宇治茶をお届け。

祇園辻利の歴史は、1860年(萬延元年)。屋号を初代・辻利右衛門の名より「辻利」とし、山城国宇治村(現・京都府宇治市)にて宇治茶の製造と販売を開業したことに始まります。

また、時代に合わせ宇治茶の旨みを追求する祇園辻利は、1978年に宇治茶専門茶寮「茶寮都路里」をオープン。宇治抹茶を贅沢に使った良質な抹茶スイーツを開発・提供しています。

2023年10月には、玉露・煎茶・ほうじ茶など「揉み茶(もみちや)」専門の新ブランドとして京都駅に「ぶぶる」が誕生。お茶がもたらしてくれる「歓び」のひとときを、多くの方々へお届けしてまいります。

